



中 田 小

平成27年4月6日

学 校 教 育 目 標

さわやか笑顔中田っ子 思い合い ひびきあい
共に生きる力を育てます。

中田小ホームページ

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nakada/>

「明日も来たくなる学校」に

校長 蒲谷 猛

『かすみか雲か』

作詞：勝 承夫 ドイツ民謡

かすみか雲か ほのぼのと
野山をそめる その花ざかり
さくらよさくら 春の花のどかな風に さそわれて
小鳥もうとう その花かげに
いこえばうれし わか草もしたい友と きてみれば
ひときわたのし その花ざかり
さくらよさくら 春の花

中田小学校が春の色に染まっています。「学校に桜はつきもの」と言えども、これほど桜の花が咲き誇る学校はそうそうありません。55本の桜が満開となり、少し散り始めた今日は、上を見ても下を見ても桜色です。泉区一の名所、本校の誇りの一つです。桜の花にちなんで、今月の歌は「かすみか雲か」にしました。ドイツ民謡ですが、日本語の歌詞は、本校の校歌の作詞者でもある、勝承夫さんの作です。今年度も、各号のテーマや季節に合う曲を掲載していく予定です。ぜひ、毎号ご家庭でお子さんと一緒に口ずさんでいただくと幸いです。

さて、このように学校全体が春色に包まれるなか、新1年生を含め、830人を超える児童数で新年度がスタートしました。すべての子どもが、自分の夢をもち、その実現に向かって力強く歩き続けてほしいと願っています。

「明日も来たくなる学校」これが、校長として目指したい学校の姿です。「明日も楽しみだな。」「早く学校に行きたいな。」と、子どもたち一人一人が明日の登校を楽しみにできる学校にしていきたいと思えます。そのためには、どの子どもも、

- 認められ、生かされる喜び
- 挑戦し、高まる喜び
- 仲間とかかわり合う喜び
- 安心して生活できる喜び

を味わうことができるようにすることが不可欠です。本校児童の「自信」と「成長の意欲」を高め続けられる50人の教職員チームでありたいと考えています。

子どもの「自信」と「意欲」を高めるカギは「ほめる」こと。でも、この「ほめる」ということは大変むずかしいことです。

いいことがあったらほめるのではなく、ほめることが出てくるように種をまき、ちょうど育った頃合いを見てほめなければなりません。一人ひとりに合った種を選ぶのも、育ち具合を見極めるのも容易なことではありません。表面に見える変化だけでなく心のなかの変化にも気付いて、タイムリーな評価をしてこそ、「自信」や「意欲」を高める指導は成立します。

子どもはほめられるのが大好きです。しかも、その言葉の真偽を敏感に感じ取る感性もすぐれています。真実味のないほめ言葉は大嫌いです。その子ならではのよさに気付き、今本人ががんばっていると自負していることをきちんととらえて、タイムリーにほめる評価ができたとき、自己肯定感や次に向かう意欲は高まり、個性に磨きがかかってきます。

子どもと常に寄り添っている保護者の皆様とコラボレーションができれば、子どもたちの見取りと指導がより確かなものになります。また、地域の皆様とのかかわりのなかで、子どもたちは「自信」や「意欲」を高める機会を増やすことができます。今年度も、教職員チーム中田、一丸となって、保護者の皆様、地域の皆様のご協力をいただきながら、本校の教育活動の一層の充実に邁進してまいります。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。